

福祉のスペシャリストを目指す川崎市立川崎高等学校福祉科の生徒がプログラムの企画立案・運営！

バリアフルレストランを川崎市立川崎高等学校文化祭にて開催します！！

川崎市では、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりを目指し、共生社会の実現に向け、かわさきパラムーブメントを推進しています。

この度、かわさきパラムーブメントの基本的な考え方である障害の社会モデル（※）を学ぶことのできる「バリアフルレストラン」を川崎市立川崎高等学校の文化祭で実施します。これまで川崎市立橘高等学校等、様々な場所で実施してきましたが、今回の川崎市立川崎高等学校での開催は、より多くの生徒や来場者に障害の社会モデルを知ってもらう機会とするために、40 分の定員制プログラムではなく、**常時開放型のプログラム**として実施します。内容は、**福祉科の生徒とワークショップを実施し、企画立案、そして当日の運営まで生徒自身が行います。**

※障害の社会モデル・・・障害や不利益・困難の原因は障害のない人を前提に作られた社会の作りや仕組みに原因があり、それらを解消するのは障害を作り出している社会の責務という考え方。（日本ケアフィット共育機構の HP より）

ここに注目！

【福祉のスペシャリストを目指す川崎市立川崎高等学校福祉科の生徒たち！】



授業の様子

社会福祉の知識や技術を学び、介護実習（3年間で13週間）や社会人講師（看護師等）の授業を通して資格を取得し、将来、看護・医療・福祉分野で活躍する専門職をめざしています。全国でもトップレベルを誇る「介護福祉士」国家試験の合格率、看護・医療・福祉・教育系への進学、希望者全員の就職など高い実績をあげています。（川崎市立川崎高等学校の HP より）

【バリアフルレストランとは？】

車いすユーザーが多数派になった逆転した架空世界を体験し、社会が作り出す障害とは何か、“当たり前って何だろう”を問いかける体験プログラムです。レストラン内は、車いすユーザーに最適化された低い天井やテーブルなどを用意しており、参加者は「二足歩行者」という障害のある方としての待遇を受けることになります。

※「障害の社会モデル」を体験するものであり、実際に飲食するものではありません。

URL : <https://dare-tomo.team/activity/>（日本ケアフィット共育機構 HP）



バリアフルレストラン内の様子

★ワークショップ日程

1 回目：6 月 21 日（水） 16：10～
2 回目：7 月 31 日（月） 13：00～
3 回目：8 月 4 日（金） 13：00～
4 回目：8 月 25 日（金） 13：00～

★文化祭当日

9 月 8 日（金） 13：00～15：00
9 月 9 日（土） 10：00～15：00

▼実施場所

川崎市立川崎高等学校

【問合せ先】

（バリアフルレストランについて）

川崎市市民文化局パラムーブメント推進担当 藤井

電話 044-200-0160 メール：25para@city.kawasaki.jp

（市立学校について）

川崎市教育委員会事務局教育政策室 安齋

電話 044-200-2838 メール：88seisaku@city.kawasaki.jp